

# 第1講 文の成り立ち



## 1 文の要素

### 基礎学習

英文がどのような構成で、どのような品詞から成っているかを確認しましょう。

#### 1 Birds fly in the sky.

(鳥は空を飛びます。)

#### 2 Your mother in the picture looks young.

(写真に写っているあなたのお母さんは若く見えます。)

#### 3 My sister studies Spanish *hard after school*.

(私の姉は放課後、一生懸命にスペイン語を勉強します。)

#### WORDS

- look + 形容詞「～に見える」
- Spanish 「スペイン語」

### 文の成り立ち

- 文は原則として、「主部」と「述部」から成っています。そして、主部の中心になる語を「主語」、述部の中心になる語を「動詞」(述語動詞)と言います。▶ 例文1
- 述部の中心になる語は動詞ですが、その動詞の種類によって、「補語」や「目的語」と呼ばれる語が必要になる場合があります。▶ 例文2

### 文の要素と修飾語

- 「補語」は主語や目的語について説明する語のことを言います。「目的語」は主語が何〔だれ〕に対して動作をするかを示すもので、日本語の「～を、～に」にあたります。
- 主語(S)、動詞(V)、補語(C)、目的語(O)のことを文の要素と言います。英語の文はこれらを組み合わせて成り立っています。また、文の要素を詳しく説明する語を「修飾語」と言います。修飾語には形容詞と副詞の働きをする2種類があります。形容詞・副詞はもちろん、(前置詞+名詞)がその働きをすることがあります。▶ 例文3
- 英語の単語は、その働きによって8つの品詞に分けられます。1語1品詞とは限らず、2つ以上の品詞の働きをする語も多くあります。

### 品詞

- ① 名詞：人やものごとを表す語。S・C・Oになる。Mary, teacher, healthなど。
- ② 代名詞：名詞の代わりになる語。S・C・Oになる。I, we, him, this, someなど。
- ③ 動詞：主語の動作や状態を表す語。be 動詞, run, study, have など。
- ④ 形容詞：(代)名詞の様子や性質を表す語。名詞を修飾したり、Cになる。  
beautiful, happy, many, oldなど。
- ⑤ 副詞：時、場所、様態を表す語。動詞などを修飾。yesterday, here, fastなど。
- ⑥ 前置詞：(代)名詞の前に置かれ、そのまとまりが修飾語になる。in, on, atなど。
- ⑦ 接続詞：語と語、句と句、節と節を結びつける語。and, that, when, ifなど。
- ⑧ 間投詞：驚きや喜びを表す語で、他の語から独立して用いられる。oh, alasなど。

### チェックコーナー

### CHECK ✓

解答は140ページ

次の文について、文の要素には \_\_\_\_\_, 修飾語には \_\_\_\_\_ を引きなさい。

- (1) The doll on the piano is very cute.
- (2) I bought a new tie for my father yesterday.
- (3) Jim usually goes to school by bus.
- (4) My uncle gave me a nice watch last week.

## 2 句と節

### 基礎学習

句と節の違いと、それぞれどのような種類があるかを覚えましょう。

#### 1 My father came home **after dinner last night**.

(私の父は昨夜、夕食後に帰宅しました。)

#### 2 It is good weather, **but** I'll stay at home today.

(よい天気ですが、今日私は家にいます。)

#### 3 **When** I arrived at the station, it was already dark outside.

(私が駅に着いたとき、外はもう暗かった。)

#### WORDS

- weather 「天気」
- already 「すでに」

#### 句とは

- 2語以上の語が集まって、名詞、形容詞、副詞の働きをするものを「句」と言います。ただし、〈主語＋動詞〉は含まないのが特徴です。

〈句の種類と働き〉

- ① 名詞句：不定詞の名詞的用法や動名詞を用いたものなどを言い、文の主語(S)、補語(C)、目的語(O)の働きをします。

(例) **To understand [Understanding] our own culture is very important.**

(自分自身の文化を理解することはとても大切です。)

- ② 形容詞句：不定詞の形容詞的用法、分詞の形容詞的用法、〈前置詞＋名詞〉などのことを言い、(代)名詞を修飾したり、補語(C)の働きをします。

(例) My family are all **in good health**. (私の家族はみな健康です。)

= healthy ※ of[in]＋抽象名詞＝形容詞

- ③ 副詞句：不定詞の副詞的用法や分詞構文、〈前置詞＋(動)名詞〉などのことを言い、動詞、形容詞、他の副詞などを修飾します。また、**last night** や **this morning** のように前置詞のつかない副詞句もあります。▶▶ 例文1

#### 節とは

- 〈主語＋動詞〉を含む2語以上の語の集まりで文の一部になるものを「節」と言います。〈節の種類と働き〉

- ① 等位節：等位接続詞(**and, but, or, so** など)で結びついている節。▶▶ 例文2

- ② 従属節：従属接続詞や関係代名詞などを含む節。名詞、形容詞、副詞の働きをするものがあります。

(ア) 名詞節：接続詞の **that** などで導かれた節。

(例) I know **that** he is a famous scientist.

(私は彼が有名な科学者であることを知っています。)

(イ) 形容詞節：関係代名詞や関係副詞で導かれた節。

(例) I have a dog **which** has long ears. (私は長い耳をした犬を飼っています。)

(ウ) 副詞節：接続詞の **when, if, because, though** などで導かれた節。▶▶ 例文3

### チェックコーナー

### CHECK ✓

解答は140ページ

次の文の下線部の句、節の種類を答えなさい。

- (1) The old man wants some friends who can play golf with him.
- (2) My brother has decided to study abroad next year.
- (3) What is the language spoken in Brazil?
- (4) I took a taxi because the bus was late.

### 3 文の種類(1)

#### 基礎学習

文の種類を確認し、特に、疑問文の作り方を整理しましょう。

#### 1 Didn't you hear the news?

(あなたはその知らせを聞かなかったのですか。)

#### 2 What did Edison invent?

(エジソンは何を発明しましたか。)

#### 3 Do you like summer or winter?

(あなたは夏が好きですか、それとも冬が好きですか。)

#### WORDS

- Edison 「エジソン」  
(アメリカの発明家)
- invent 「発明する」

#### 文の種類

#### 平叙文とは

• 英文は、内容の点から平叙文、疑問文、命令文、感嘆文の4種類に分けられます。そして、感嘆文以外のものにはすべて、肯定文と否定文があります。

• 話し手が、「～は…である[をする]」と事実や考えを述べる文のことを言います。文末にはピリオドを打つのが特徴で、下げ調子で読みます。

(例) 肯定文: I am twenty years old. (私は20歳です。)

否定文: We don't go to school on Sundays.

(私たちは日曜日は学校へ行きません。)

#### 疑問文とは

• 話し手が相手に質問する文のことを言います。基本的に、意味と形から3種類に分けられます。

① 一般疑問文: yes, no で答えられる疑問文。文末を上げ調子で読みます。

※否定疑問文「～ではないのですか」という意味の疑問文。Aren't, Don't, Can't などの否定の短縮形で始めます。▶▶ 例文1

〈答え方に注意が必要!〉

否定疑問文でもふつうの一般疑問文と同じように考えます。答えの内容が肯定なら yes, 否定なら no で答えます。日本語につられてはいけません。

(例) Didn't Tom come to see you yesterday?

(トムは昨日あなたに会いに来なかったのですか。)

— Yes, he did. (いいえ, 来ました。)

No, he didn't. (はい, 来ませんでした。)

② 特殊疑問文: 疑問詞で始まる疑問文で、そのあとは一般疑問文と同じ語順になります。文末を下げ調子で読みます。▶▶ 例文2

\*ただし、疑問詞が文の主語になる場合は、平叙文と同じ語順です。

(例) Who wrote this novel? (この小説はだれが書いたのですか。)

③ 選択疑問文: 2つのうちのどちらであるかを尋ねる疑問文。or の前を上げ調子、後ろを下げ調子で読みます。▶▶ 例文3

#### チェックコーナー

#### CHECK ✓

解答は140ページ

次の文を( )内の指示にしたがって書きかえなさい。

(1) Mary read the Japanese book last night. (否定文に)

(2) Mari and Kenta went to the movies together. (疑問文にして、No で答える)

(3) That man is a doctor. (否定疑問文にして、「いいえ(、医者です)」と答える)

(4) He will leave home at eight thirty. (下線部が答えの中心となる疑問文に)

## 4 文の種類(2)

### 基礎学習

間接疑問文、付加疑問文、感嘆文などの作り方を覚えましょう。

#### 1 Do you know **who that man is**?

(あなたはあの男性がだれか知っていますか。)

#### 2 Peter is Australian, **isn't he**?

(ピーターはオーストラリア人ですよ。)

#### 3 **What a vast farm** you have!

(あなたはなんて広大な農地をお持ちなのでしょう。)

#### WORDS

- Australian 「オーストラリア人(の)」
- vast 「広大な」
- farm 「農地, 農場」

#### 特殊な疑問文

- ③では基本的な疑問文の種類を紹介しましたが、ここでは特殊な疑問文を取り上げるのでしっかり覚えましょう。

- ① 間接疑問文：疑問詞で始まる疑問文が、他の文の一部になったもの。それにより語順が〈疑問詞+S+V ~〉と変わるので注意しましょう。▶▶ 例文1

(例文の考え方)

Who is that man?

↓  
Do you know who that man is? (knowの目的語になっている)

- ② 付加疑問文：相手に「～ですね」と念を押したり、同意を求めるときに、平叙文のあとにつける疑問形の文のこと。肯定文には否定、否定文には肯定の付加疑問をつけます。▶▶ 例文2

付加疑問のつけ方 (ア) 肯定文, 〈否定の疑問形〉

(イ) 否定文, 〈肯定の疑問形〉

\* 付加疑問の主語は代名詞を用います。

(ウ) 命令文, **will you?**

(エ) Let's ~, **shall we?**

#### 命令文

- 相手に「～しなさい」と命令する文で、主語がなく動詞の原形で始まるのが特徴です。また、命令文の前に次の語を用いることで、意味に変化が出てきます。

- ① Don't + 命令文：「～してはいけません」(禁止)
- ② Please + 命令文[命令文, please]：「～してください」(依頼)
- ③ Let's + 命令文：「(いっしょに)～しましょう」(勧誘)

#### 感嘆文

- 「なんて～なんだろう」と喜びや驚きを強く表した文を感嘆文と言います。文末に!

(エクスクラメーション・マーク)をつけるのが特徴です。▶▶ 例文3

〈感嘆文の種類〉何を強調したいかで①②のどちらかの形をとります。

- ① S+V ... (a) **very** 形容詞+名詞. → **What** (a[an]) 形容詞+名詞+S+V!
- ② S+V ... **very** 形容詞[副詞]. → **How** 形容詞[副詞]+S+V!

### チェックコーナー

### CHECK ✓

解答は140ページ

次の( )内から適する語(句)を選び、その記号を○で囲みなさい。

- (1) I don't know what (ア. does she want イ. she do wants ウ. she wants).
- (2) Bob works for a bank, (ア. does he イ. doesn't he ウ. doesn't Bob)?
- (3) Taro, (ア. doesn't イ. don't ウ. isn't) eat too much.
- (4) (ア. How イ. What) well your daughter speaks French!

# 基本問題

解答と解説は1ページ

## 1 文の要素

次の各文の要素を指摘しなさい。

(主語 \_\_\_\_\_, 動詞 \_\_\_\_\_, 目的語 \_\_\_\_\_, 補語 \_\_\_\_\_)

1. My parents left Tokyo for Fukuoka at eight this morning.
2. The girl talking with Mike is my cousin.
3. Have you ever made him a cake for his birthday?
4. The pretty baby was sleeping in the cradle then.
5. My mother drives a car the most carefully in my family.

### WORDS

2. cousin 「いとこ」
3. ever 「今までに」
4. cradle 「ゆりかご」
5. carefully 「注意深く」

**point** まず各文を主部と述部に分け、それぞれの主要素(主部はS、述部はV・C・O)を指摘すること。

1. 動詞が他動詞(目的語を必要とする)か自動詞かを判断する。〈前置詞+名詞〉は修飾語になるので、文の要素にはならない。
2. 主部は The girl ~ with Mike。talking with Mike は分詞の形容詞的用法。
3. 現在完了の疑問文。have は動詞に含めて考える。
5. 最上級の文。the most carefully は原級の carefully に戻して考えるとわかりやすい。

## 2 品詞

次の文の①~⑦の品詞を答えなさい。

1. It <sup>①</sup>rained <sup>②</sup>heavily <sup>③</sup>yesterday.
2. To answer the question is very <sup>④</sup>hard <sup>⑤</sup>for <sup>⑥</sup>me.
3. My sister came <sup>⑦</sup>home <sup>⑧</sup>before it got <sup>⑨</sup>dark.
4. "I have had a <sup>⑩</sup>cold for a week." " <sup>⑪</sup>Oh, that's <sup>⑫</sup>too bad."
5. The man <sup>⑬</sup>went out of the room <sup>⑭</sup>without saying <sup>⑮</sup>anything.

### WORDS

1. heavily 「ひどく、激しく」
3. get + 形容詞「~になる」
4. have a cold 「風邪をひいている」
5. without ~ 「~なしに」

**point** 1つの単語で複数の品詞を持つものがあるので、必ず前後関係を確認して判断すること。

1. ① rain の形に注目。語尾に ed がついているので名詞ではないことがわかる。
2. ④ 主語である To answer the question を説明している語なので、副詞ではない。
3. ⑦ 名詞ではなく「家へ」の意味。 ⑧ before のあとに〈主語+動詞〉が続いている。
4. ⑩ 直前に冠詞の a があることに注目。
5. ⑭ without のあとの saying は動名詞。これは名詞の働きをするもの。

### 3 句と節

次の文の句と節に下線を引き、その種類を答えなさい。

1. I believe that my son will succeed in the exam. ( )
2. He became a doctor to help sick people. ( )
3. The woman that you met at the station is my aunt. ( )
4. Let's go shopping if you are free tomorrow. ( )
5. Kate doesn't know how to use chopsticks. ( )

#### WORDS

1. son 「息子」  
succeed in ~ 「～に成功する」
4. go shopping  
「買い物に行く」
5. chopstick(s) 「はし」  
(はしは2本で一組なので、ふつう複数形で使う)

**point** 節は〈主語＋動詞〉を含む2語以上のまとまり、句は〈主語＋動詞〉を含まないまとまりである。

1. that のあとに注目。動詞 believe の目的語になっている。
2. 不定詞は句として働く。「彼は病気の人を助けるために医者になった」の意。
3. The woman ~ station が主部。that 以下が The woman を修飾していることに注意。
4. 接続詞の if に注目。
5. 〈疑問詞＋不定詞〉が動詞 know の目的語になっている。

### 4 間接疑問文

次の疑問文を( )内の語句を用いて間接疑問文にしなさい。

1. Who are those girls? (I don't know)
2. Where does Tom live? (Please tell me)
3. When will your brother come back? (Do you know)
4. What time is it now? (I wonder)
5. Who took these pictures? (I want to know)
6. Why did he go to Canada? (do you think)

#### WORDS

3. come back 「戻ってくる」
4. wonder 「～かしらと思う」

**point** 間接疑問の語順が、〈疑問詞＋主語＋動詞～〉になることに注意しよう。

1. be 動詞の疑問文を間接疑問にするときは、be 動詞と主語を入れかえればよい。
2. 一般動詞の疑問文を間接疑問にするときは、動詞の形に注意すること。
4. what time 「何時」は1つの疑問詞として考える。
5. 疑問詞が主語の働きをしている場合は、間接疑問になっても語順は変わらない。
6. 間接疑問が think の目的語になる場合は、〈疑問詞＋do you think＋主語＋動詞～?〉という特殊な語順になる。「あなたはなぜ彼がカナダに行ったと思いますか」の意。



## 5 否定疑問文・付加疑問文

次の日本語に合うように、( )に適する語を入れなさい。

1. あなたたちは同じクラスではないのですか。—— いいえ、同じクラスです。  
( ) you in the same class? —— ( ), ( ) ( ) .
2. 友子はあなたに電話しませんでしたか。—— はい、しませんでした。  
( ) Tomoko call you? —— ( ), ( ) ( ) .
3. あなたはエンジニアですよ。  
You are an engineer, ( ) ( ) ?
4. 彼は昨日あなたの家を訪ねませんでしたよね。  
He didn't visit your house yesterday, ( ) ( ) ?
5. ボブとジムはフルートを吹けますよね。  
Bob and Jim can play the flute, ( ) ( ) ?

### WORDS

3. engineer 「エンジニア、技術者」
5. flute 「フルート」

**point** 否定疑問文は答え方に、付加疑問文は肯定・否定が反対になることに注意しよう。

1. 日本語の「いいえ」につられないこと。答えの内容は「同じクラスである」という肯定の内容。
2. 1とは逆。答えの内容は「電話しなかった」という否定の内容。
3. be 動詞の肯定文なので、付加疑問は否定。
4. 一般動詞の過去の否定文なので、付加疑問は肯定。
5. 付加疑問では、文の主語は必ず代名詞に変える。

## 6 命令文・感嘆文

次の文を( )内の指示にしたがって書きかえなさい。

1. You must be careful when you go across the street. (命令文に)
2. You must not make the same mistakes again. (命令文に)
3. Will you pass me the salt? (命令文に)
4. That temple is very old. (感嘆文に)
5. He has a very clever dog. (感嘆文に)
6. Your daughter can run very fast. (感嘆文に)

### WORDS

1. go across ~ 「～を横切る」
3. pass 「回す、手渡す」
4. temple 「寺院」
5. clever 「賢い」

**point** 感嘆文は、very のあとの語句の構成で、what と how を使い分けること。

1. 命令文は動詞の原形で始める。
2. もとの文は must not が用いられて「～してはいけない」という意味なので、否定命令文にする。
3. Will you ~? で「～していませんか」と相手に依頼しているので、命令文もそれに合わせる。
4. very のあとは old という形容詞が単独で続いているので、how を用いて感嘆文を作る。
5. very のあとは〈形容詞＋名詞〉が続いている。
6. very のあとは fast という副詞が続いている。





3 次の各組の英文を、意味の違いに注意して日本文に直し、下線部の品詞を答えなさい。

(1) ① Keiko came to my house early in the morning. ( )

② My grandfather is an early riser. ( )

(2) ① Be kind to elderly people. ( )

② I have wanted this kind of bicycle for a long time. ( )

(3) ① It snows a lot in Hokkaido. ( )

② The ground was covered with snow this morning. ( )

(4) ① He likes playing tennis with his sister. ( )

② She is like a mother to me. ( )

4 次の英文を( )内の指示にしたがって書きかえなさい。

(1) When will Jim leave for Italy? (I didn't know のあとに続けて)

(2) Why didn't you invite him to dinner? (Tell me のあとに続けて)

(3) She waited there for one hour. (下線部が答えの中心となる疑問文に)

(4) The boy is playing the guitar very well. (感嘆文に)

(5) Mr. Suzuki put his wallet on the table at that time. (否定文に)

(6) Your brother didn't join the baseball team. (付加疑問文に)

(7) There wasn't a park near the station. (否定疑問文にして、「はい、ありませんでした」と答える)

(8) We watched TV after doing our homework. (下線部を節に)

5 次の英文の誤りの箇所に下線を引き、右の \_\_\_\_\_ に正しい語(句)を書きなさい。

(1) I want to know what is her name. \_\_\_\_\_

(2) Mika went to bed early because of she was very tired. \_\_\_\_\_

(3) Your sister will come home soon, will she? (二重線部は変えない) \_\_\_\_\_

(4) How beautiful pictures your father took in France! \_\_\_\_\_

6 次の日本語に合うように、( )内の語(句)に1語加えて並べかえなさい。

(1) この腕時計はいくらだろうか。 (this / I / is / watch / how / wonder / .)

(2) 彼女は中国語をなんて上手に話すのでしょうか。 (speaker / she / a / of / is / Chinese / good / !)

(3) この箱の中には何が入っていると思いますか。 (is / this box / do / what / in / you / ?)

(4) 夕食を食べる前に手を洗いなさい。 (hands / dinner / your / before / wash / .)

7 次の日本語を英文に直しなさい。

(1) ルーシー(Lucy)はフランス語を話せませんか。 (4語で)

(2) いいえ、話せます。[(1)の答えとして] (3語で)

(3) あなたは学校にバスで行きますか、それとも自転車でいきますか。 (10語で)

# 読 解 問 題

解答と解説は5ページ

- 1 次の英文を読んで、下の各問いに答えなさい。(目安時間 7分)

In July 2021, ① a three-day contest was held in an old saloon called Sloppy Joe's Bar, situated on the corner of Duval and Greene Street in Key West, Florida. The contest drew more than 130 contestants from across the country. A sixty-three-year-old businessman, Zach Taylor, who runs a company in Georgia, was designated the 2021 winner. On the closing day of the event, 5 the final round took place and Mr. Taylor's victory was ensured. Past and present winners, including him, assembled on the bar's stage and were photographed. ② If you see one of those group photographs uploaded online, you may well be taken aback because all the elderly people in them wear not only similar clothes but also white, bushy beards. All the men look like the same person.

10 This is, needless to say, not a coincidence. The annual contest decides who looks the most like prominent American writer Ernest Hemingway, who took up residence in Key West for about eight years. The event's venue was known ③ as the author's favorite hangout, and the year 2021 marked the 40th anniversary of the event's launch, although the covid-19 pandemic forced cancellation of the event the previous year. Last but not least, one noteworthy fact about Mr. 15 Taylor is ④ that his late father-in-law was also named winner at the end of the 20th century, meaning two people in the same family have been picked as winners of this unique contest.

(約 240 語)

- (1) 下線部①のコンテストでは何を決めますか。次の日本語を完成させなさい。

参加者の中から、\_\_\_\_\_を決める。

- (2) 下線部②の文の主節の述語動詞として適するものを次から選び、記号で答えなさい。( )

ア. see    イ. uploaded    ウ. may well be taken aback    エ. wear

- (3) 下線部③、④の語の品詞を答えなさい。

③ \_\_\_\_\_    ④ \_\_\_\_\_

- (4) 本文の内容と 合わないものを次から選び、記号で答えなさい。( )

ア. Ernest Hemingway frequently visited Sloppy Joe's Bar.

イ. Ernest Hemingway was a resident of Key West, Florida.

ウ. The contest was called off due to the covid-19 pandemic in 2020.

エ. Zach Taylor and his father were both declared 2021 winners.

**WORDS** saloon 「酒場, バー」 situated 「ある, 位置する」 designate 「指名する」 ensure 「確実にする」  
may well ~ 「おそらく~だろう」 be taken aback 「びっくりする」 coincidence 「偶然」  
annual 「年に1度の」 prominent 「有名な」 take up residence 「居住する」 venue 「会場」  
hangout 「たまり場」 noteworthy 「注目に値する」 late father-in-law 「亡き義父」

## point

- (1) 少し離れたところに説明があることに注意する。  
(2) Ifから始まる節が従属節, コンマ以降の節が主節である。  
(3) ③ asのあとに名詞があることに注目する。  
④ thatが節を導いていることに注目する。

2 次の英文を読んで、下の各問いに答えなさい。(目安時間 8分)

**A** In all likelihood, nine out of ten people reading this passage have experienced a phenomenon called involuntary musical imagery, also known as earworms. Even if those two terms — especially ① the first one — sound unfamiliar to you, you should probably know this phenomenon, because this is a fairly common one. A song's catchy melody or rhythm gets stuck in your brain and repeats over and over. Since it happens inside your head regardless of time or place, people around you never notice you are experiencing it, much less guess what song you are mentally hearing — unless you sing along, whistle, or hum the tune.

**B** It is said that a typical earworm lasts for 15 to 30 seconds but it could repeat over and over. People are sometimes unable to focus on their work or sleep because of it. They might get irritated and wonder, “( ② ) there a cure for this?” or “Gee, ( ③ ) difficult it is to get rid of song snippets lingering in my ears!”

**C** Unexpected as it may sound, an effective cure could lie in chewing gum, according to a 2015 study by psychologists at the University of Reading in the U.K. **D** ④ (produce speech / can / involve / body parts / chewing / used / a piece of gum / to), such as the tongue and teeth, and can help reduce brain activity related to musical memories, the study suggests. (約230語)

(1) 本文中にある **A** ~ **D** のうち、次の文を入れるのに適する位置を記号で答えなさい。  
( )

Unfortunately, earworms are not always comfortable.

(2) 下線部①が指しているものを本文中から抜き出さない。

(3) ( ② ), ( ③ ) にあてはまる語の組み合わせとして適するものを次から選び、記号で答えなさい。  
( )

ア. ② Aren't ③ what    イ. ② Isn't ③ how

ウ. ② Aren't ③ how    エ. ② Isn't ③ what

(4) ④の( )内の語(句)を、「ガムをかむことは、発話をするために使用される体の部分に影響を与える可能性があります」という意味になるように並べかえなさい。

(5) 本文のタイトルとして適するものを次から選び、記号で答えなさい。  
( )

ア. The most effective substance to get rid of songs in your head

イ. The close connection between brain activity and each body part

ウ. Earworms and a possible solution for people suffering from them

エ. The intense controversy over the existence of earworms

**WORDS** in all likelihood 「おそらく」 passage 「(文章の)一節」 involuntary 「無意識の」  
imagery 「イメージ、心に描くこと」 term 「用語」 stuck<stick 「貼りつく」  
regardless of ~ 「～に関係なく」 hum 「ハミングする」 get irritated 「イライラする」  
snippet 「断片」 linger 「いつまでもとどまる」 psychologist 「心理学者」  
related to ~ 「～に関連している」

**point** (1) それぞれの段落で何を説明しているか考える。

(2) 直前に those two terms とあることに注目する。

(3) ② a cure に注目する。